

教えて！水道管の工事



上下水道局では水道管の工事を計画的に実施しています。
街で見かける水道管工事。止まって見るわけにもいかず・・・何をしているのか？
工事の手順は次のとおりです。

1 準備

水道管は道路下の地中に埋めるため、水道管を埋める場所にガス管などほかの地下埋設物がないか調査したり、試しに掘って確認したり、近隣の方へ工事のお知らせをするなど工事を始めるために必要な準備を行います。



2 掘る

水道管を埋める場所の舗装を切断し撤去した後、水道管を埋める深さまで建設機械（ショベルカー）で土砂を掘り進めます。

3 並べる

水道管を埋める深さまで掘り進めたら水道管を並べます。管と管のつなぎ目は、ポリエチレン管の場合、熱を発生させる機械でつなぎ目を溶かしてつなげることで、管路として一体化します。

4 埋め戻す

水道管を並べ終わったら、水道管の周りは管にキズが付かないよう細かい砂で埋め戻し、舗装までの残りは碎石や良質発生土で埋め戻します。埋め戻しの途中（管の上30cmから40cmまでの間）に水道管が埋められていることを教えてくれる埋設標識シートを敷きます。最後は舗装をして自動車が行っても大丈夫な道路に戻します。

5 洗う

水道管を埋め終わったら、管の中を水道水で洗ってきれいにします。きれいになり飲んでも安全な水であることを検査で確認後、水道管の中を満水にして水漏れ確認のために水压をかけて耐圧試験を行います。試験合格で水道管として使用できるようになります。



▼赤い矢印の先に埋設物が少し見えています。



▼慎重に、慎重に・・・



▼新品!!!



▼ていねいに、しっかりと、さあもう少し!!



新しい施設の紹介

竜宮浄水場配水池

●所在地 伊勢崎市宮子町3069番地I

浄水場とは、安全で安心な水道水を作り、ご家庭に配る施設になります。竜宮浄水場では、伊勢崎市内約30%の配水を賄っています。



きれいな水を貯める配水池を令和4～6年にかけて新たに建築しました。最新の耐震基準に基づき設計されており、ポンプ室、電気室を2階に配置しています。

▼新配水池外観



▼新配水池内部



東西約25m、南北約40m、地上3m、地下3.5m、有効水深5.5m、容量は5,000m³の、鉄筋コンクリート造の大きな水槽です。

さて、このできたばかりの新しい配水池を間近で見てみたいありませんか？そんなあなたに朗報です！

竜宮浄水場では、毎年6月、水道週間に合わせて施設見学会を開催しています。施設見学会では、この新しい配水池をご覧いただくことができます。※1 また、他にも高さ35mの調整塔※2に登ることができたり、さらに、ろ過したばかりの水道水を飲むこともできます。普段見ることのできない、浄水場内のヒミツとは！？

施設見学会でぜひお待ちしております！

※1 新配水池内部に入ることはできません。

※2 調整塔：ふだんは水道の圧力を一定に保つ水圧調整や配水を行い、地震などの災害の時には非常用給水施設として利用されます。



▲施設見学会の様子

お知らせ

水道料金などのお支払いは口座振替で

水道料金・下水道使用料は、お客様の預貯金口座から毎回自動でお支払いいただけます。払い忘れもなく、料金を支払いに行く手間も省ける便利な口座振替をぜひご利用ください。

約70%の水道使用者のみなさんが口座振替を利用しています。

また、令和6年10月よりインターネットによる申込もできるようになりました。申込方法や取扱金融機関などの内容は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 料金窓口 ☎0270-30-1230

▼市HP



飲料水などの備蓄、足りていますか？

大規模な災害に備えて、最低3日分の食料・飲料水を備えておくことが大切です。飲料水は1人1日3リットルが目安ですので、1人あたり最低9リットルを備えるようにしましょう。

最低
×3日分＝
1人あたり3リットル 1人あたり9リットル